

以上の異動により、十四年十二月一日現在で電気・情報系学科の教授、助教授、講師の現員は以下の通りです。

電気通信研究所の近況

【工学研究科】
電気・通信工学専攻
(電気工学科)
教授：犬竹正明(学部長、専攻主任)、楠引淳一、松木英敏、一ノ倉理、阿部健一、林敏之(客員)、内田直之(非常勤客員)、吉澤誠(情報シナジー)、斎藤浩海(技術社会システム)

助教授：飯塚哲、大沼俊朗、安藤晃、郭海敏、渡辺高志(情報シナジー)
講師：西野秀郎

(通信工学科)
教授：牧野正三(学部長、専攻主任)、阿曾弘具、安達文幸、澤谷邦男、宮城光信、中村信良

助教授：伊藤彰則、工藤栄亮、陳強、松浦祐司、山田頭、大町真一郎(技術社会システム)、石芸尉(技術社会システム)
講師：田中治雄

電子工学専攻(電子工学科)
教授：金井浩(学部長、専攻主任)、島山力三、内田龍男、川又政征、星宮聖、高橋研(NICHE)、須川成利(技術社会システム)
助教授：小谷光司、角田匡清、宮下哲哉、二見亮弘

【情報科学研究科】
情報基礎科学専攻およびシステム情報科学専攻(情報工学科)
教授：海老澤正道(学部長、専攻主任)、堀口剛、丸岡章、青木孝文、亀山充隆、伊藤貴康、西岡隆夫、樋口龍雄、根元義章、山本光隆

助教授：福井芳彦、田中和之、瀧本英二、周暁、加藤寧、中尾光之
講師：林正彦、阿部光衛

電気・情報系運営委員会は、工学研究科長就任までは宮城教授が、就任後は犬竹が委員長を務め、四学科長(専攻主任を兼務)で構成されています。

末筆ながら、会員の皆様方のご健康とますますのご活躍をお祈り致します。(犬竹正明 記)

会員の皆様は、電気通信研究所の近況をご紹介いたします。

本研究所は、全国で唯一の情報通信に関する国立大学附置研究所として大きな期待に応えるため、ソフト及びハードの両面から次世代技術の開発に向けた研究を積極的に進めており、柔軟な知能な処理を行うブレインコンピュータ、誰でも優しく使える柔軟で知的なヒューマンインタフェース、多量のデータを伝達できる超高密度・高速の伝送網、超高速・超微細集積回路等で構成される高速・高機能な通信装置システムなどの実現を目標に掲げております。現在の組織は、ブレインコンピュータ、物性機能デバイス、コヒーレントウェーブ工学の三大研究部門、超高密度・高速知能システム実験施設、二十一世紀情報通信研究開発センター(略称：IT21センター)と、評価・分析センター、やわらかい情報システム研究センター、スピニクス研究センター、コヒーレントデバイス研究センターからなっています。IT21センターは今年度四月に設置が認められたもので、企画管理部と二つの研究部を擁して、通研から五年以内に実用的な成果が見込まれるプロジェクトを推進するものです。今年度より「eJapan 重点計画」を推進する「ITプログラム」の実施機関として本研究所が認められ、「次世代モバイルインターネット端末の開発」と「超小型大容量ハードディスクの開発」、それに、「高機能・超低消費電力メモリの開発」を加えた三つのプロジェクトに対して、総合科学技術会議が定めた資源配分方針に基づいて大型の研究費が配分され、精神的な研究開発が開始されています。

通研の重要な使命として全国共同利用研究所であることが挙げられます。今年度もこの役割を強力に果たすために全国の国公私立大学や民間企業との共同プロジェクト

研究を38件採択して推進しています。また、我々の研究成果を広く世界に知らせ、かつ国内外の優れた研究者の交流の拠点としての役割を果たすため、通研国際シンポジウムを毎年開催しております。

重点的な活動の一つとして地域との結び付きの強化を以前にも増して行っております。今年も広く市民への広報を目的に、片平及び星陵キャンパスの研究所・研究センターが一斉に所内を一般に公開する「片平まつり」に合わせ、通研一般公開を実施致しました。日程は十月十二日、十三日に行いました。このような活動を通して、世界最先端の研究レベルを地域と社会に還元し、外部に開かれた研究所となることを目指しています。

平成十四年十二月一日現在、中村慶久所長はじめ、教職員百三十六名(うち教授二十五名、客員教授三名、助教授十八名、客員助教授二名、助手四十名、非常勤研究員五名、技官十六名、研究支援推進員九名、リサーチアシリエイト三名、事務官十五名)、日本学術振興会特別研究員七名、受託研究員二十四名、内地研修員八名、研究生三名、大学院生二百十名、学部学生六十六名、総勢四百五十四名を擁しています。

前回の報告(平成一三年十二月一日)以降の人事異動をお知らせいたします。平成一四年一月に、岩谷幸雄助教授(やわらかい情報システム)、石井久夫助教授(分子電子工学)が着任されました。三月には、アベティヤンユリ教授が退職されています。四月には、青井基教授(IT21センター)、磯田陽次教授(IT21センター)、横山弘之教授(応用量子光学)、白井正文教授(先端機能物性)が着任され、羽生貴弘教授(次世代コンピュータ)が昇任されました。また、島津武仁助教授(IT21センター)が昇任され、徳光永輔助教授(IT21センター)が着任されました。五月には、松浦孝助教授が退職され、七月には松岡浩教授(IT21センター)が着任され、谷内哲夫助教授が多元研へ配属換になりました。八月には、

櫻庭政夫助教授(原子制御プロセス部)が昇任され、十月には佐藤茂雄助教授(知能集積システム部)が昇任されました。

以上の異動により、十二月一日現在での各研究分野の専任教授、助教授は次のとおりとなっております。

(ブレインコンピュータ研究部門)
教授：... 外山芳人、中村慶久、白鳥則郎、鈴木陽一、矢野雅文、羽生貴弘、助教授：... 中島健介、陳健、王華兵、

(物性機能デバイス研究部門)
教授：... 外岡富士雄、庭野道夫、荒井賢一、村岡裕明、潮田資勝、白井正文、助教授：... 遠藤哲郎、末光慎希、石井久夫、山口正洋、上原洋一、

(コヒーレントウェーブ工学研究部門)
教授：... 横尾邦義、水野信司、横山弘之、中沢正隆、長康雄、坪内和夫、杉浦行、助教授：... 三村秀典、ベイジョンソク、荻戸立夫、松本泰、

(超高密度・高速知能システム実験施設)
教授：... 室田淳一、大野英男、中島康治、助教授：... 櫻庭政夫、大野裕三、佐藤茂雄、(IT21センター) 教授：... 松岡浩、磯田陽次、青井基、助教授：... 徳光永輔、島津武仁。

今後も、諸先輩の輝かしい研究成果を引き継ぎつつ、新しい科学技術の創造と発展、そして後進の育成に貢献できるよう所員一同邁進してゆく所存です。平成16年度より本学も法人化が予定されており、このためさまざまな側面からの対応を積極的に行っており、新たな成果を次々と注ぎ込んで明々と伝統の輝きが増していく体制が確立できるよう議論を続けております。なお、本研究所の最新情報は、インターネット上のウェブページ <http://www.niec.tohoku.ac.jp/> でご覧いただけます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご発展を心よりお祈り申し上げます。(三村秀典、村岡裕明 記)